

大規模路盤陥没災害時における防災訓練・復旧デモ施工

～建設発生土リサイクル材の有効活用～

<経緯>

近年、自然災害の頻発により、迅速な対応と復旧が求められています。令和5年12月11日、仙台市と宮城県建設発生土リサイクル協同組合および宮城県コンクリート圧送協会の間で、建設発生土のリサイクル材「流動化処理土」をポンプ車にて災害時に提供する防災協定を締結し、これを機に迅速な災害対応ができるよう、両団体主催による第一回『大規模路盤陥没災害時における防災訓練・復旧デモ施工』を開催する運びとなりました。

11月は、流動化処理土が注目を集めた「博多駅前道路陥没事故」が発生した月でもありますので、この機会に建設発生土の有効利用について広く知っていただきたいと思います。

この訓練では、圧送車を使った流動化処理土の実演を通じて、災害復旧の技術を披露し、建設発生土の有効活用と圧送車の実用性について紹介します。防災訓練を通じて、地域全体の防災力向上を目指しています。

開催日時	令和6年11月22日(金) 10:30～12:00
開催場所	株式会社環境施設 未来リサイクルセンター 住所:宮城県宮城郡松島町桜渡戸真言21

【主催】 宮城県建設発生土リサイクル協同組合
宮城県コンクリート圧送協会

大規模路盤陥没災害時における防災訓練・復旧デモ施工

《 次 第 》

1. 開 会 10:30分

2. 挨 拶 宮城県コンクリート圧送協会 会長 遠藤 光一郎

3. 参加行政紹介

仙台市危機管理局・建設局 宮城県土木部、石巻市、
多賀城市、塩釜市、利府町、松島町

4. 復旧デモ施工 (株)環境施設 取締役部長 島内 雅志

10:40～11:20

① 宮城県土木部防災協定に基づく建設発生土による大型土のう製作状況

② 仙台市防災協定に基づく

流動化処理土について動画説明

③ 流動化処理土プラント製造見学・製造フローの説明

④ ポンプ・圧送車による流動化処理土の打設状況

- ・流動性の確認

- ・充填

- ・現場試験の説明

- ・流動化処理土硬化後のサンプル確認

5. 質 疑 応 答

6. 挨 拶(総評) 宮城県建設発生土リサイクル協会 理事長 赤坂 泰子

デモ施工 ルート見取図

